

いて

答弁 平成21年3月の広報でお知らせしてありますので、ご覧ください。

④近い将来の学校統合について
答弁 教育委員会で、各PTA役員、保護者および地域の方々にも少しずつご意見を伺いながら進めていく予定です。

質問 和紙の里フェスティバルに思う
(内容) 今年のフェスティバルについて

①来場者の昨年との比較は？

答弁 毎回、和紙製造所内受付でカウントしていますが、昨年度は推計で約2300人、今年度は推計で約3000人としています。

②費用は予算内でまかなえたか
答弁 250万円の予算内で納まっています。前回は207万8千円、今回は200万円程度となる見込みです。

③出し物についての満足度、反省点について

答弁 村の昔からの文化および現在の文化を表現し、また、隣地域の文化の流れを合わせて表現できたことに満足しています。反省点は、人手不足により、本部が本部長らしく構えられなかったこと。集客人数の把握方法に検討の余地があること。「響

きまつり」では、構成に十分な検討が必要だったこと。プログラムの売店がスタッフともに撤収していたこと。2日目は、「吹奏楽で楽しむ」が終了すると、観客がぐつと減ってしまったことなどです。

④和紙の里の業績は？

答弁 フェスティバル2日間については、前年比7・8%の伸びと聞いています。

眞下議員

質問 郡域と行政事務について
(内容) 村の一般行政事務や広域市町村圏組合等多くは比企管内に属し、生活圏も比企地区が多くウエイトを占めている。行政の効率化を図る上で、郡域変更等を含め現状をどう考えるか。

答弁 現在、村の行政事務の多くは比企に属しており、秩父郡に残っているものとしては、選挙関係、税務関係、教育関係の教科書採択事務等であります。郡域変更については、地方自治法の規定で、県知事が県議会の議決を経てこれを定め、総務大臣に届け出なければならぬとされています。現段階では郡域

変更のための県議会の議決を得ることは大変難しいことと推測され、仮にそのような働き掛け

をすれば、郡域変更よりも合併を推進しなさいとの言葉が返ってくるものと考えます。いずれにしても、越えなければならぬ法律等、大変なハードルがいくつもありますので、現状の中から無駄なものを省き、真に村民のための効率的な行政を進めていくことが重要なことと考えています。

質問 道路整備について

(内容) 災害時における道路の迂回路は、住民の安全確保や利便性から不可欠であるが、その整備の実態と計画について

答弁 村内の道路は、その多くが昭和40年代から国、県の補助金を受け、生活道路が整備されその後改良を加え現在に至っています。また、集落間の道路についても同様に、昭和50年代後半より多くの道路が整備されました。現在、村に全体を通じた具体的な整備計画はありません。災害が発生した場合には災害復旧工事を行い、復旧しているのが現状です。危険と判断された箇所についてはその都度予算の範囲内で必要な工事を行っています。なお、本年度工事を予定している集落間連絡道路は、大字大内沢地内森林管理道沢向線法面保護工事と千波沢線舗装工事の2箇所です。

質問 村のPR戦略について

(内容) 埼玉県はこの程「観光立県宣言」をして、観光PRの強化や各自自治体への支援も積極的に打ち出しているが、同時に地域の歴史や伝統・文化を守り育て周知することも観光資源と思われれます。

①本村では観光振興のため、どのような施策を計画しているか。

答弁 本年度は、観光資源として埋もれていた皇鈴山の山ツツジを見学できるよう、コースの新設を計画しています。同じく二本木峠のツツジの群落についても、より多く鑑賞できるように

コースを整備する予定です。また、村のマスコットキャラクターのデザイン募集を6月30日まで実施し、今後はキャラクターの愛称募集を7月20日から8月31日まで行う予定です。いずれにしても、観光は本村のイメージアップのためにも重要な要素の一つと考えていますので、今後も引き続きPRして行きたいと考えています。

②「東秩父村郷土史年表 第四版」の刊行予定について

答弁 村の歴史年表については、平成3年に改訂版を出して以来年月も経っていますので、ご指摘のとおりですが、経費、手間等の問題もありますので、検討

